


出張調査報告書

平成24年12月5日

松伏町議会議長 渡辺忠夫様

会派名 町民クラブ

代表者氏名 鈴木勝 

下記のとおり先進地視察をしたので届け出ます。

記

| | |
|--------------|-------------------------------------|
| 1. 期 日 | 平成24年11月7日から平成24年11月8日 |
| 2. 視 察 地 | (1) 熊本県 玉名市 (2) " 菊陽町 (3) |
| 3. 視 察 目 的 | (1) 音楽の都づくり (2) 企業誘致と人口対策 (3) |
| 4. 視 察 者 氏 名 | 鈴木 勝 堀越 利雄 長谷川 真也 |
| 5. 視 察 結 果 | 行程、視察結果は別紙のとおり |

町民クラブ視察報告書

代表 鈴木 勝・
堀越利雄・長谷川真也

平成24年11月7日（水）

熊本県玉名市

テーマ 音楽の都たまな

玉名市議会副議長 高木重之氏の歓迎の挨拶後、教育委員会主任 小川 孝氏の説明を受ける。

玉名市の合唱の歴史は61年に及ぶとの事、いわゆる戦前よりこの地には合唱の文化が根づいていたのである。名前はあまり知られてないが、(本人も知られることが好きでなかったようである)日本の合奏の一任者の方が玉名市出身であったことが、ことのはじまりである。

吹奏楽に関しては、2つの女子高校が合奏とマーチングバンドで全国金賞を取ったことがきっかけとなり「音楽の都たまな」を政策の一環として掲げた。

色々なイベントについては別紙

説明終了後市内の見学をさせていただいた。

音楽に関してでは、街灯にスピーカーが取り付けられており、時間でいろいろな音楽が流れるとの事、時間で子どもたちの帰宅を促す音楽だけがながれるわが町との差を感じた。

玉名市では江戸時代、関西まで米を輸送しており運河が整備されていた。それを現在は整備し、菖蒲を植え観光地としている。その整備の時、当時の庄屋の蔵を市が買い上げ「蔵の音楽会」を行っている。収容人数は50人ほどであるが小さなコンサートにはちょうど良い広さであった。古民家の古木・柱はかけがえのない財産であることを改めて考えさせられた。

平成24年11月8日（木）

熊本県菊陽町

テーマ 人口減少を抑えた政策

結論から記してしまえば、菊陽町は企業誘致と駅の誘致を成功させ人口の減少を抑えた。

近年では「ソニーセミコンダクタ株式会社」や「富士フイルム九州」などが誘致され

ている。

平成 24 年 4 月現在の人口は 37,901 人であるが、町内の企業数は 1,240 企業働く人口は 15,607 人労働人口である。卸売業・小売業では 4,189 人、医療・福祉では 1,928 人の従業者数を数える。

企業誘致のポイントを伺ったところ、この地方は地下水が豊富で水道料金がほとんどかからないことがあげられる、との事。また、1,4%の法人税も1,05%に期間限定で減額もした。

また、平成 18 年には JR 豊肥本線に「光の森」駅を新設し、若者の定着を促した。昭和 40 年以後人口減少を見たことが無く、第 5 期基本計画で定めた平成 32 年度の想定人口は 43,000 人となっている。現在の菊陽町の高齢化率は 16,4%である。

松伏町の人口が近年減少している点は、駅の誘致と道路の整備が解決の手段であることがなおはっきりとした。が、時間がかかるのでそれ以前に打てる手段がなお分からなくなった。

平成24年町民クラブ視察日程表

11月7日
東京 8:05 ————— 熊本 10:00 — 天名市 ————— 熊本
視察

11月8日 ————— 南陽町 10:00 ————— 熊本 ————— 東京
熊本 視察